

# 有害獣から農作物を守る

近年、農作物を荒らすイノシシやニホンジカ、ニホンザルなどの有害獣が増加し、大変深刻な問題になっています。市では、『有害獣対策、ワン・ツー・スリー』によって、地域ぐるみで効果的な対策に取り組みます。

## 有害獣対策 ワン・ツー・スリー

- ワン：防護対策**  
農地に入られないよう、農地を囲みましょう！
- ツー：すみわけ対策**  
有害獣が嫌がる環境を作りましょう！
- スリー：捕獲対策**  
適切な捕獲を行いましょ！

## ワン 防護対策

農地に入られないよう、農地を囲みましょう！

### Q どんなもので囲うの？

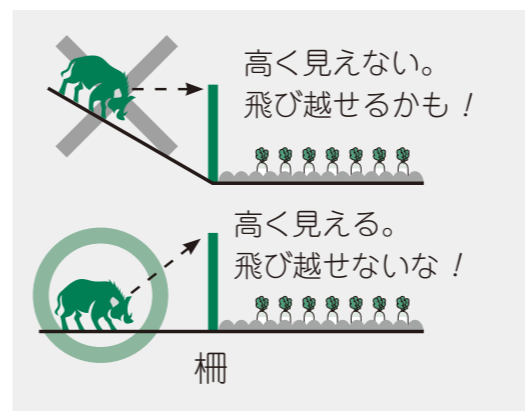
種類はいろいろあります。金網柵、電気柵などがよく利用されています。

### Check!

電気柵は、通電のいい場所に設置し、線の間隔にも注意しましょう。設置後の管理・点検が重要です。

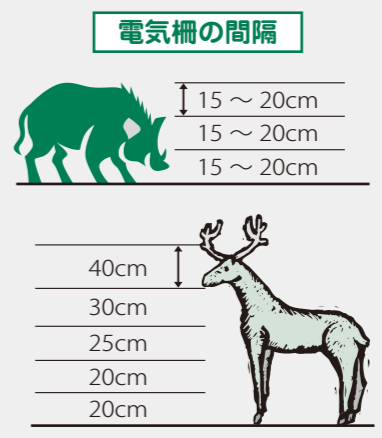
### Q どんな所に設置するの？

イノシシの目線から、柵が高く見える位置を選びます。



### Q 電気柵はどのくらいの間隔が必要ですか？

左の図に示した間隔が効果的といわれています。また、草が線にかかっていると漏電する可能性があります。定期的な点検をしましょう。



### Q 設置に関して補助はありますか？

- 国の事業（恒久金網柵）**  
請負にて設置する場合、地元負担は20%。資材提供のみの場合、地元負担なし。
- 県の事業（簡易金網柵や電気柵）**  
（設置は地元で行う）  
地元負担は、費用の3分の1。
- ※一定の要件がありますので、詳細は農務課有害獣対策室までご相談ください。

## ツー すみわけ対策

有害獣が嫌がる環境を作りましょう！

### Q すみわけってどうやるの？

有害獣と人が住む場所をはっきり分けることです。有害獣は理由があるからやってきます。

### Q どうして人の住むところに有害獣が来るの？

有害獣が住みやすい場所があったり、えさがあるからです。

### Q 住みやすい場所ってどんな場所？

やぶや草が生い茂っているところ有害獣は住みつきます。人から有害獣が見えないところがあると、そこをすみかや隠れ家になります。

人からは見えない！  
有害獣は安心。



### Q えさを置いていないのに有害獣がやってきます

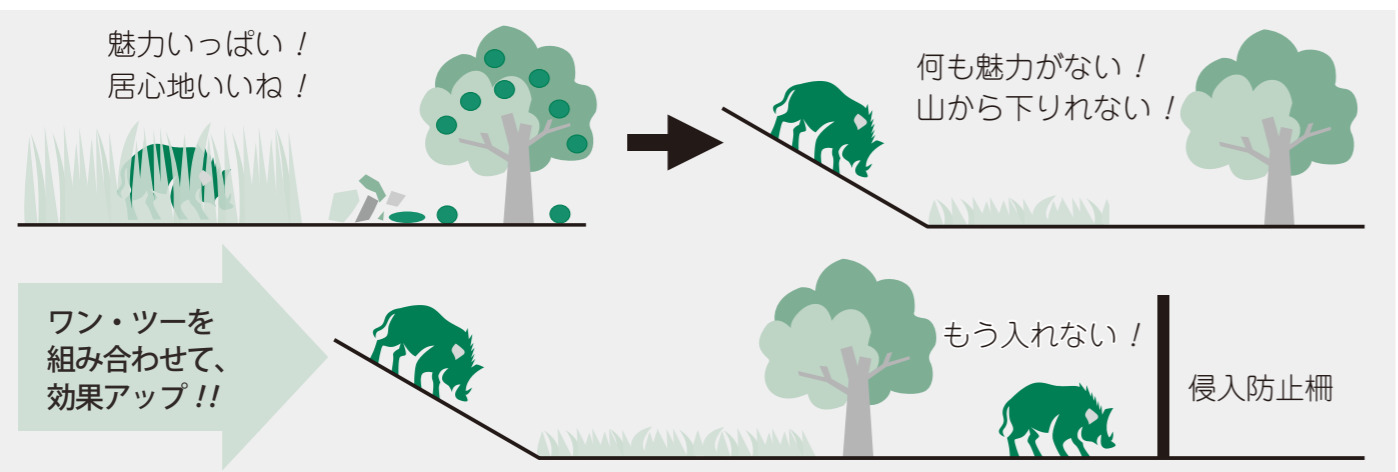
野菜くずや生ごみは放置してありませんか？人間にとってくずやごみでも、有害獣にとっては、おいしいえさになります。



収穫しないクリヤカキの木も、放置しておくといサになります。

### Q どうしたらいいの？

- ① 生い茂ったやぶや草を刈り払いましょう。
  - ② 野菜くずや生ごみを放置しないようにしましょう。
  - ③ 収穫しないクリヤカキの木の伐採やもぎ取りをしましょう。
- えさや住みやすい場所がなければ、有害獣はやってきません。さらに『ワン・防護対策』を組み合わせれば効果もアップします。



## スリー 捕獲対策

適切な捕獲を行いましょ！

これらの防護対策とすみわけ対策をしても、全て被害がなくなるわけではありません。有害獣もどこか入る所がないか探し続けます。農家の皆さんが、恒久金網、電気柵の管理・点検作業ややぶなどの草刈を定期的に行うことで侵入防止効果が高くなります。それでも侵入してくる有害獣は、『スリー・捕獲対策』で市有害鳥獣捕獲隊が捕獲します。

農家の皆さん、有害鳥獣捕獲隊員、農務課有害鳥獣対策室が連携をとり、被害防止に取り組みしましょう。

問合せ先 有害鳥獣対策室  
(農務課内)  
☎ 22・8196